

「平成24年度施政方針、
平成24年度予算」

5月19日(土)
午前10時～11時30分
野添コミセン
参加者48人

Q 高齢化率22・1%とあるが全国平均からするとどのような状態か

A 全国平均からみれば播磨町は若い町。ただこれからは急激に高齢化が進むと思われる

Q 1学年の編成は

A 2～4学年

Q 以前、教職員から1学年4学級が理想と聞いた。1校廃校し3学校にしてほしい

A 学校規模としては12～18学級が適正規模、学年で言うと2～3学級でちょうど適正規模かと思う。多くない方がきめ細かな指導ができる

Q 民生費31・9%は地方自治体としてはどうか

A 播磨町の場合、高齢化率が平均より少ないため抑えられている。受益者負担もお願いしながら、今後も民生費の事業の見直しは必要だと考えている

Q 生活保護世帯の開示をしてはどうか

A 「播磨町の統計書」に世帯数

と人数を掲載している。統計書は町のホームページで公開している。平成23年は12世帯、157人と以前に比べ少し増えている

Q 人口急増期に建設した施設の老朽化による改修に大きな費用がかかっている。今年度は町民プールの老朽化による今後のあり方を検討する。高齢化率が毎年1%近く上がり少子高齢化対策や新しい制度などで今後民生費が伸びるのはやむを得ない

Q 町税のなかで法人税の占める割合は

A 播磨町の場合、住民税と固定資産税がメインで法人税の割合は比較的少ない。また、一つの大きな企業に頼っているわけではないので、業績により税収入が半分になることはないだろう

Q 歳出の「労働費」というのは職員の給与か

A 給与ではなく、勤労者の住宅資金の融資対策、福祉対策、シルバー人材センターへの補助金。人口1千人当たりの職員数は県下一少ないので人件費も少ない。しかし国や県からの業務の移管もあり、今の職員数では厳しいと考えている

Q 土山駅近くの高齢者は買い物に困っている。駅南の土地には食料品などの店舗などを誘致してはどうか

A スーパーがなくなってからそのような声も聞いている。昨日中学生とタウンミーティングをした。5千平方メートルあり検討委員会を立ち上げ意見を聞く予定。雑多な駅前ではなく、ベッドタウンなので駅利用者が帰って来てほっとするような空間にしたい。利用者の利便性が増し、駅周辺の人が立ち寄ることもでき、買い物もできるようなものを提案したいと思う

Q 土山駅南に朝の通勤時間帯に企業のバスが停車している。バスの待機場所を作ってはどうか

A 送迎バスが多くなっている。また、一般車両も多い。検討委員会で検討させたい

Q 山電播磨町駅のバリアフリー化はいいが防犯対策も考えてほしい。駅員がいないのでエレベーターを設置して、もし事故を起こしたら対応はどうなるのか

A 土山駅と播磨町駅には複数の防犯カメラが設置されている。通常エレベーターにも設置すると思うが、改札内は山電が設置するので確認したい

Q イルミネーションが議会で否決されたが、何人かの議員の意見を優先させるのではなく町民の意見も聞いてもらいたい。町民は議会とは違う意見を持っている

A LEDなら1カ月1万円程度

の電気代に抑えられ、地域の活性化、にぎわいの創出などいろいろな効果がある。昨年12月に500万円の寄附があったので、駅前からミュージアムロードにつなげて光の回廊のようにしようと寄附者と合意したが、歳入歳出となれば議会の承認が必要。寄附者のご意思を尊重したいと思っていたので残念に思っている

Q 雨が降ったとき新しい道路が高くなる古いところに水が流れてくる。どのような施策を考えているのか

A 治水対策はしている。野添周辺などは流れを変える工事をして改善した。下水道の整備も98%すでに終わっている。予測できない豪雨がピンポイントであった場合どこまで対応できるかが課題

Q 土山駅北側の整備は

A 整備について、まちづくり協議会と話し合っているが、思うようには進んでいない

Q 最近夜間に女性がひつたくりに遭っているが町としての対策は

A 昨年も防犯カメラを2カ所設置したが、今後新たな設置も考える。警察や地元と協力しながら犯罪を減らす努力をしていき住みよい町にしていきたい



コミセン単位で、5～6月に各コミセンで開催しました行政懇談会を伝えます。町長・幹部職員が地域に出向き、町の将来像である「まちが いりに関する意見、要望などを直接住民の方から聞き、今後の町

行政懇談会

談会のうち東部コミセンと南部コミセンの様子をお
きいき きらめくはりま」の実現に向けて、まちづくりに反映させることを目的に開催するものです。



「平成24年度施政方針、
平成24年度予算」

5月19日(土)
午後1時30分～2時45分
南部コミセン
参加者15人

Q 東日本大震災のがれきを70ト受け入れると新聞で見たが、いつからはじめるのか

A 70トとは、受入可能な量であり、播磨町はまだ受け入れるとは言っていない。受け入れを検討しているが、播磨町に最終処分場はなく、フェニックスに運ぶことになる。また6市3町が最終処分場としてフェニックスを利用しているが、運ぶ経路によって播磨町に影響がないか懸念される。受け入れには住民理解や放射線セシウム

Q 石ヶ池自治会付近は田んぼが減り、水路も流れる水が少ない。水がたまりボウフラがわくので水の流れる幅を狭くしたらどうか。ボウフラがわかない対策をしてほしい。読売新聞の線路側の水門は20数年使っていない

A 新井水路からの水を受けるために必要な水路なので、なくすことはできない。ゲートは非常用だと思いが再度確認し後日回答する

Q 喜瀬川の両岸はきれいに舗装されているが、播磨中学校あたりは土を固める程度になっている。今後きれいにする予定はあるのか

A 現地確認し、そこが通学路や遊歩道であれば舗装を検討する

Q 町制施行50周年を迎えたが、それとともに「阿閉」という言葉が消えていく。本荘の東側は球場などあるが西側の環境整備が必要

A ウォーターフロント計画は現在凍結状態。新たに集客施設を建設するのは難しく、阿閉漁港周辺は芝生などを張りグラウンドゴルフ場などにもできないかと考えている。町の北側には公園があるが、南側には緑地が少ないというご意見もある。有効活用すれば地域の人もいい場所だと思う。自治会とも話したいと

が1キ当たり100 bq (ベクレル)以下など細かい条件を出している。また安全基準も明示されていない。被災地の支援はしていきたいが、問題が起きてもいけないので慎重に検討したい。住民の意向を無視することはない

Q 私は、受け入れるべきだと思う。電気は融通してもらおうのに、がれきは受け入れられないのは日本人としてどうか。困っているときはお互い様

A 賛否両論があると思う。被災地には寄附金も送り職員も派遣している。最終処分場は神戸沖にありセシウムは水に溶けやすい。フェニックスの積出基地があるので播磨町の海に飛散する可能性もある。他市町が東播磨港を利用されると播磨町にも関係する。そのような意見があることは受け止めるが、安全な播磨町を将来に引き継いでいきたいので慎重に検討する

Q 自治会でも街灯をLEDにしようと思ったが少し値段が張る。町からの補助は考えていないか

A 今後はLEDの技術も進み値段が下がると思う。町の防犯灯の新設はLEDにし、今あるものは様子を見る。自治会の設置費の補助は今のところない

Q 大中地区水路改修事業とは水利組合の水路か町の水路か

A 道路側溝の改修

思っていたので地元の協力が得られるならタウンミーティングなどで一緒に考えてみたい

Q 節電の努力をしようと思うが粉塵が気になって窓を開けられない。発生源がどこかわからないがK社からくるのでは。対策を十分にしたいとお願いしたい。そういう人は他にも多いと思う

A タウンミーティングでもそのような話は聞か、K社もフェンスを設置し役場にモニターを設置したり努力している。これからもそういうことがあれば、その時々で連絡してほしい

Q 播磨町駅東の無料駐輪場を利用しているが放置自転車やバイクがある。有料のところはシルバークの人が整理しているが、無料のところも一度点検して置き方も整理してはどうか

A 現地調査し、使い勝手や整理が悪いようなら改善したい。無料なので大きな投資もしくいが放置されているようなら土地活用にならないので、札をつけるなどして確認したい。担当グループにも伝える

自治会単位で、開催を希望する自治会は、企画グループまでご連絡ください。日程を調整させていただきます。

▼問合せ 企画グループ
☎079 (435) 0356